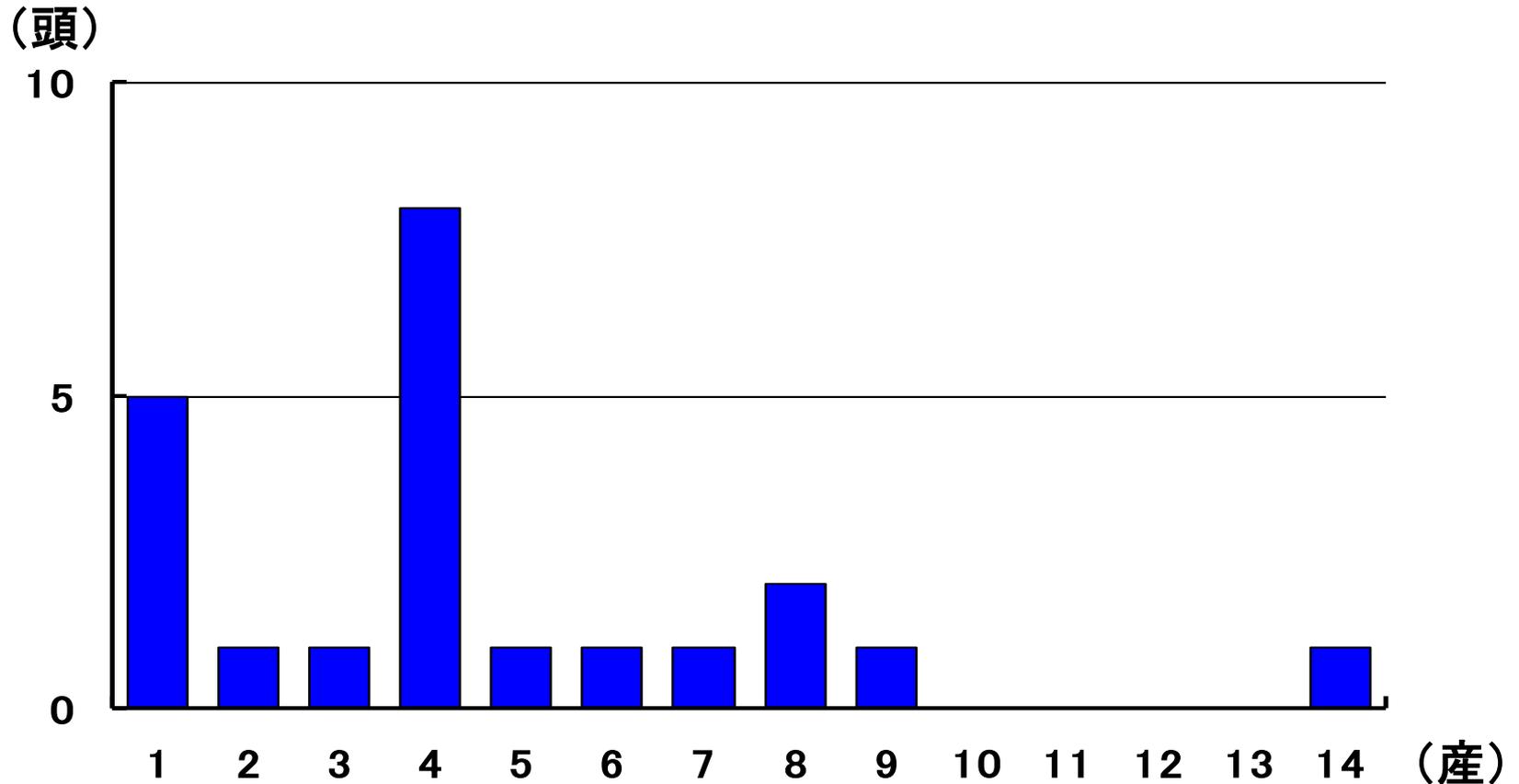


表1 A農場の乳熱発症数

年度	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	H 24	合計
乳熱発症数(例)	3	3	2	3	0	2	13
分娩数(産)	24	21	14	25	19	19	122

- 平成19年度から24年度にかけてホルスタイン種分娩牛の10.7%に発症

図1 ホルスタイン種の産次数



平均 5.3 産

図2 血清Ca濃度

(mg / dl)

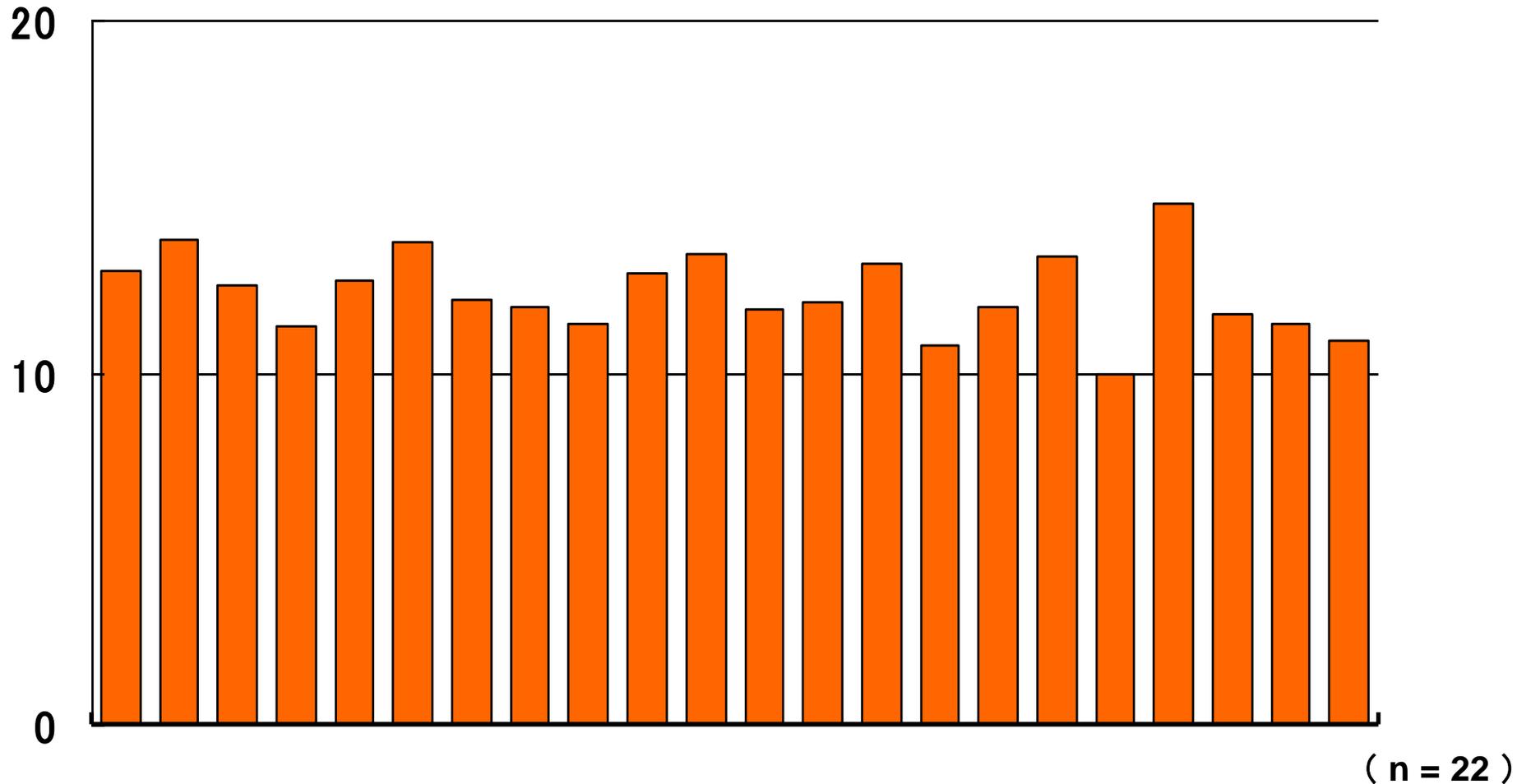
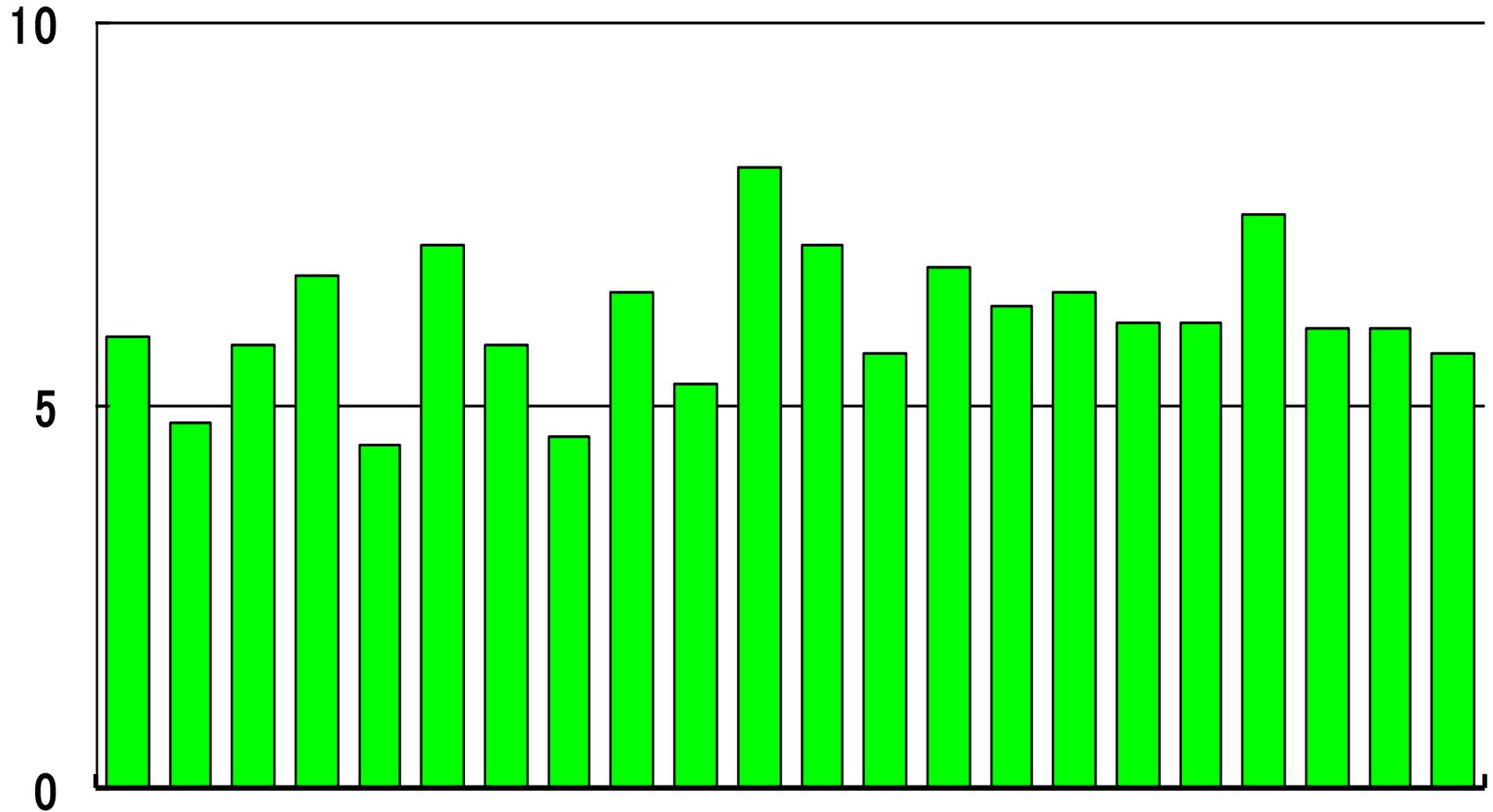


图3 血清IP濃度

(mg / dl)



(n = 22)

図4 A農場の乾乳期飼養管理

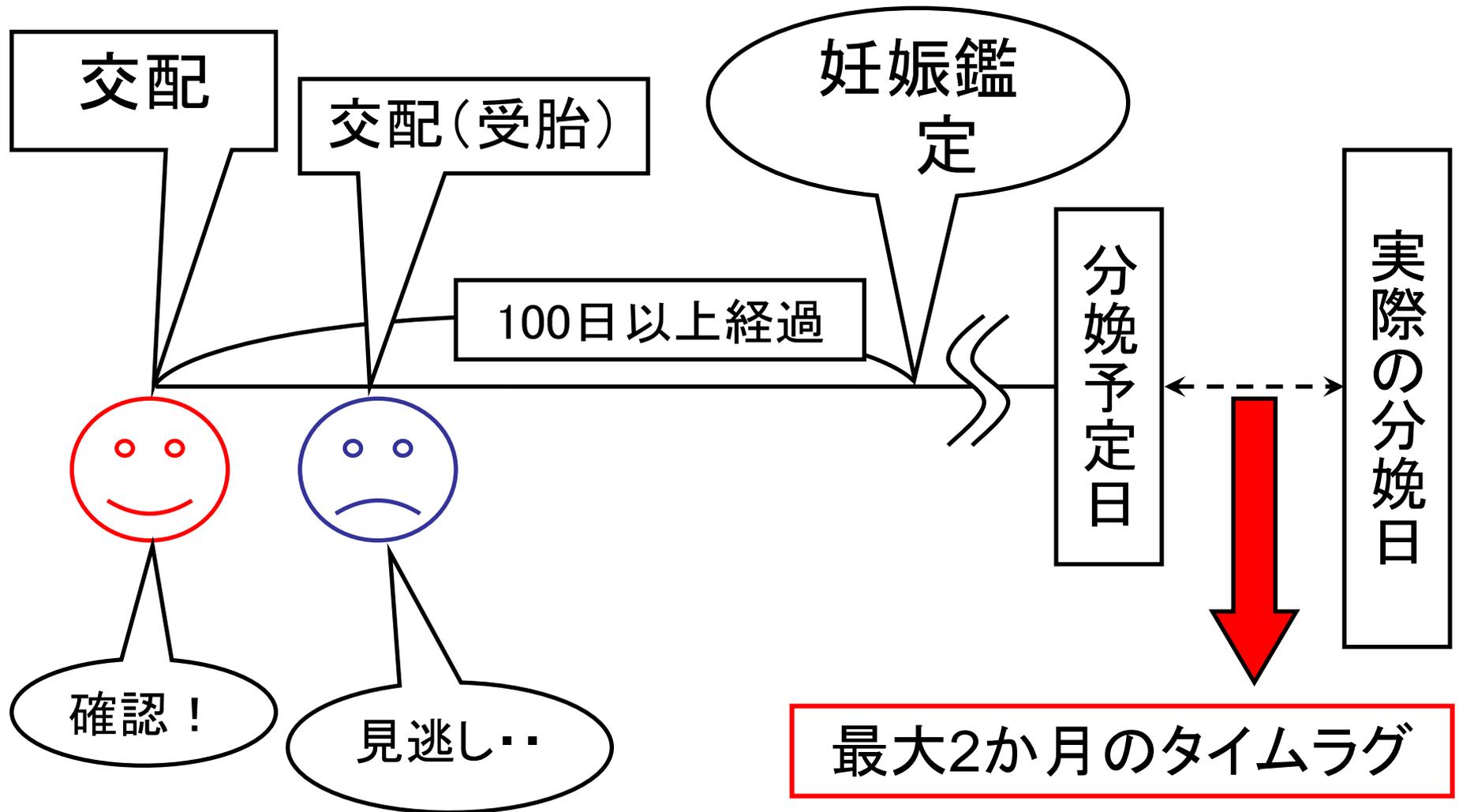


図5 A農場の乾乳期飼養管理

- 分娩予定日から2か月前を乾乳期として設定
- 分娩予定日2週間前までCaとVit.AD₃Eの混合剤を給与

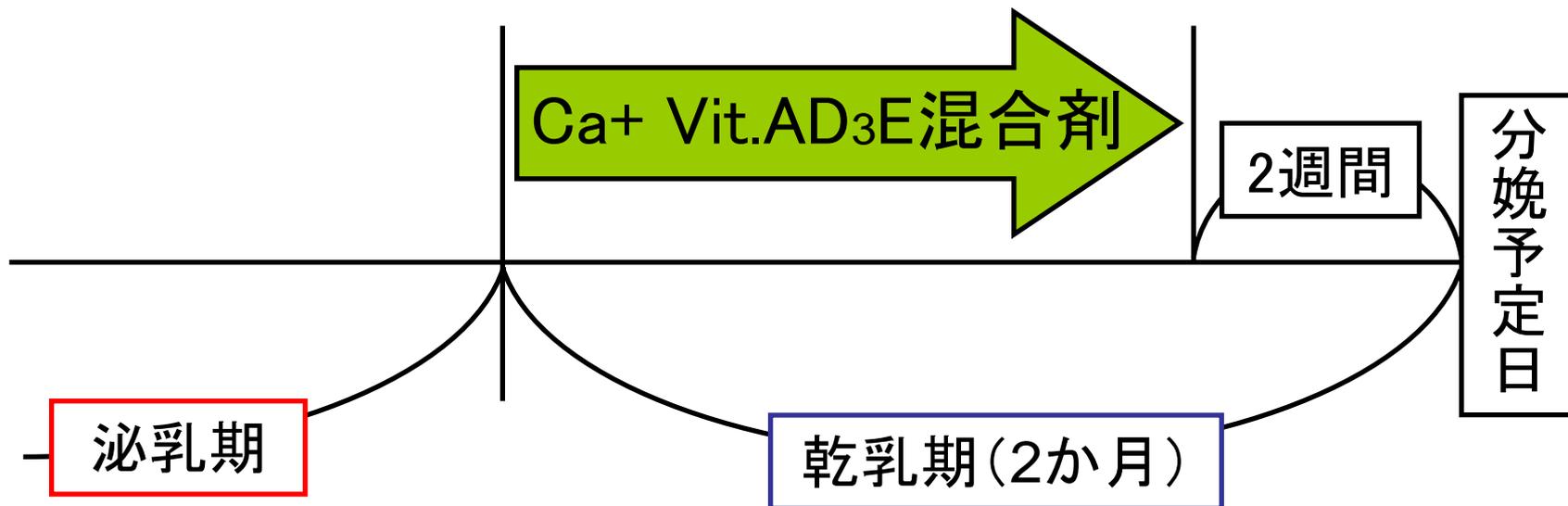
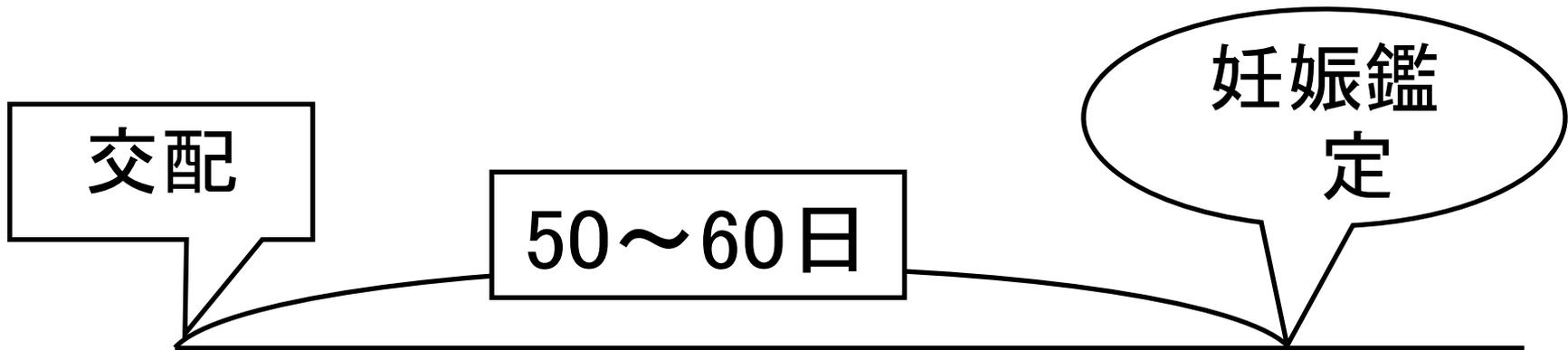


図6 発症低減対策



- 交配の確認から50～60日を目処に妊娠鑑定を実施
- 早期に受胎と分娩予定日を確定させる
- 見逃しが疑われる牛については定期的な妊娠鑑定を実施

図7 発症低減対策

- CaとVit.AD₃Eの混合剤を単味剤に分けた
- Ca剤は分娩2週間前に給与停止し、Vit.AD₃E剤は分娩まで継続給与することとした

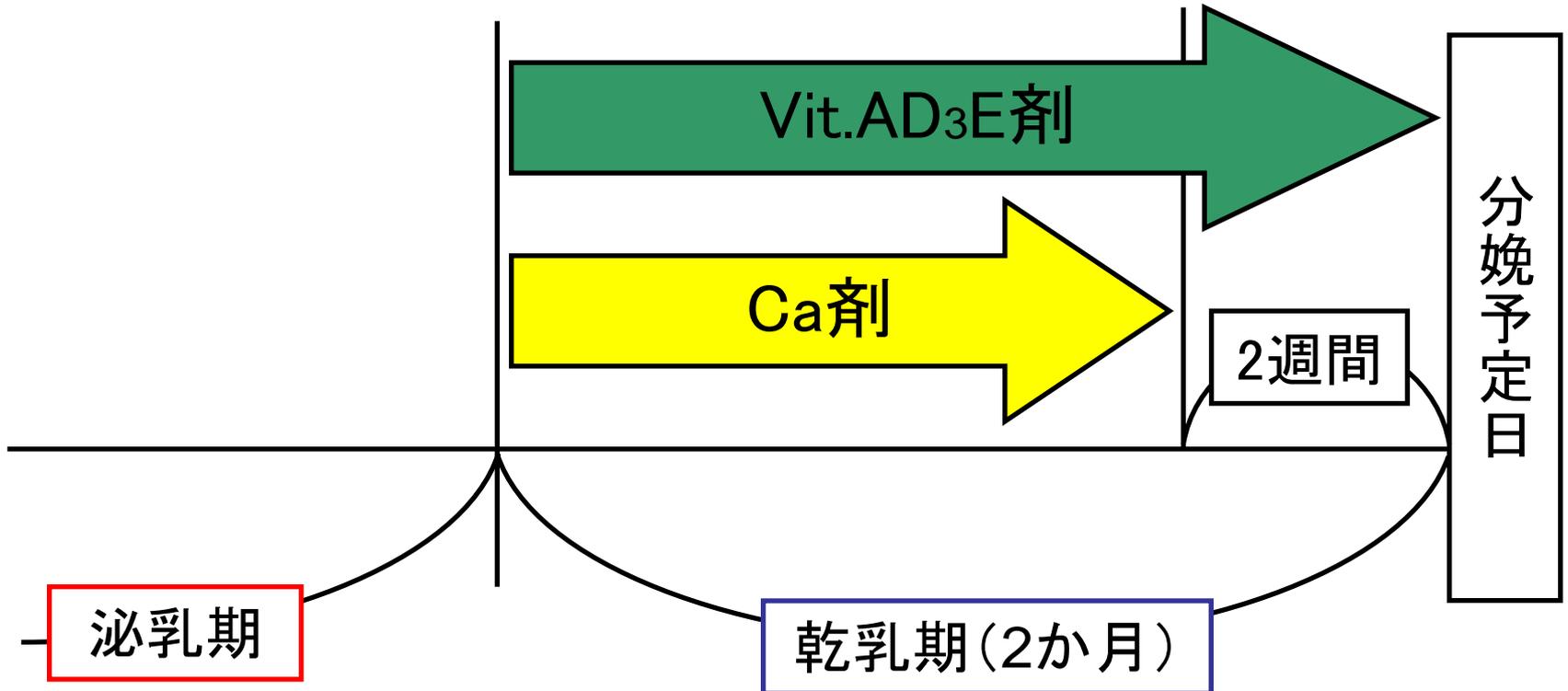


図8 分娩牛の血清Ca濃度

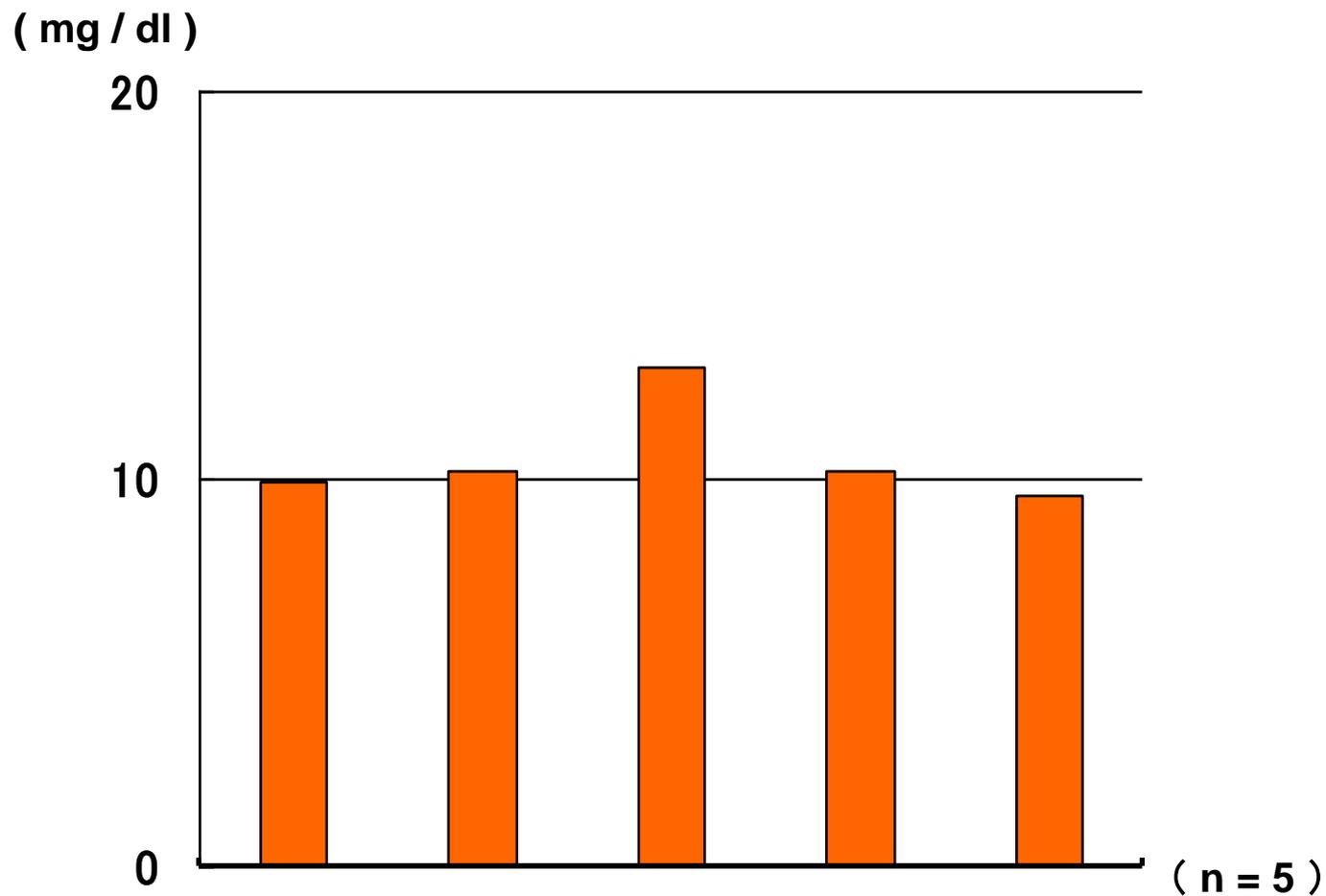


図9 分娩牛の血清IP濃度

(mg / dl)

